

白峰地区白山市ミライ会議

1. 会議概要

項目	内容
開催日時	令和8年5月27日(水) 19:00～
開催場所	白峰地域交流センター
参加者	10 名(市長、白峰まちづくり協議会、白峰女性の会、白峰小育友会、市南消防団白峰分団 ほか)
選択トピック	防災力アップを地域力アップに 1. 地域の孤立リスクと防災インフラ(道路・流雪溝・備蓄品)の整備 2. 避難訓練・防災意識の向上と高齢者・子どもの見守り体制



2. 主な議題と意見

(1) 地域の孤立リスクと防災インフラ(道路・流雪溝・備蓄品)の整備



① 現状

- ・ 白峰地域は他地域から離れた場所にあり、災害時は応援部隊が来るまでに1時間程度かかる。福井県境の谷峠やダムから上の十数か所のトンネルで落盤等が起きると、完全に孤立してしまう
- ・ 備蓄品については、耐震化されていない旧庁舎で保管されている。現時点で白峰地区分として100人分が配備されている(人口約600人)

② 課題

- ・ 桑島地区からダムまでの対岸道路が未整備で、国道が寸断されると完全に孤立すると、孤立時の脱出ルートがなく、白木峠線(小松方面)も毎年要望しているが未整備のままとなっている
- ・ 流雪溝が崩れると消火用水が確保できなくなる。実際に去年の火災では水利が不足し、大口谷川から2kmの中継送水を余儀なくされた。川へポンプ車が降りられる道も2~3か所必要となり、流雪溝の老朽化と水利確保が課題
- ・ 備蓄品が旧庁舎に分散保管され、所在や数量が非常時に誰でもわかる管理体制になっておらず、防災協議会のメンバーが毎年交代する場合もあり、引き継ぎも課題
- ・ 広域災害時には、携帯トイレ・飲料水・オムツ・ミルクなどの備蓄品は、災害協定を締結した企業が輸送する段取りだが、道路が寸断された場合に輸送不可となる

③ 市の主な方向性・回答・対応

- ・ 流雪溝については、中期計画で計画的に修繕していく方針を確認。今年度500万円の交付金事業で11月上旬までに完了予定
 - ・ 備蓄品の数量・状態の把握については、課題として最善の方法を地域とともに検討していく
 - ・ 砂防対策については、国土交通省と連携し、安心して暮らせるよう取り組みを継続
 - ・ 白木峠線については、毎年要望を継続しており、早急な対応が求められる
-

(2) 避難訓練・防災意識の向上と高齢者・子どもの見守り体制

り体制



① 現状

- ・ 避難訓練について、コロナ禍は開催できなかったが、2年前から全体の避難訓練を再開。今年はダンボールベッドの組み立て体験を実施予定。文化祭で展示し、地域住民に広く周知する計画
- ・ 桑島区では、能登半島地震の被災者から体験談を聞く機会を設け、防災意識の向上を図った。高齢者向けの見守りセンサー（笛・ボタン型）導入検討中

② 課題

- ・ 今までに大きな被害がなかったため防災意識が薄く、訓練への参加意識も低い。地域全体の避難訓練のみ実施のため、訓練不足と感じる

- ・ 若い世代が松任・鶴来方面へ仕事に出ており、日中は子どもや高齢者だけが残る状況。孤立が発生した場合、子どもの安全確保や対応（オムツ・ミルク等の備蓄も含む）が不十分
- ・ 白峰小学校・保育所は、ともに川沿いの低地に位置しており、水害時に最初に避難が必要な場所に立地している。火山噴火時も火砕流が最も起きやすい場所に位置しており立地リスクがある
- ・ 防災訓練にあたり、二次避難所の開設手順が分からず、他の地域の協議会との視察・意見交換を求める声が上がった

③ 市の主な方向性・回答・対応

- ・ 危機管理課が多様な訓練事例を持っているため、市民サービスセンターと連携して相談いただくよう案内
 - ・ 二次避難所の開設訓練については、市内 13 地区に設立された自主防災組織の地区ごとの訓練方法を参考にできる
 - ・ 学校の避難訓練については、市から学校側へ改めて働きかけを行い、訓練の充実を図る
 - ・ 気象台と連携し、土砂災害警戒情報に基づく避難所開設の準備体制を整備
-

3. まとめ

白峰地域は、白峰区と桑島区の 2 つの集落が、日頃からお互いに連携を取りながら、組織づくりや地域コミュニティの形成が進んできた地域であり、各種避難訓練では、災害時に連携して助け合える地域力アップを目指し、コミュニティ強化に取り組んでいる地域です。

今回のミライ会議では、孤立リスクに対応する道路・流雪溝などのインフラ整備および避難訓練の実践化と防災意識の向上の 2 つの課題について、具体的な話し合いを行いました。

市としては、流雪溝の計画的修繕や備蓄品配備状況の見える化、砂防対策の継続、学校への訓練働きかけなど、解決できるところから取り組む姿勢を示しました。地域と市が連携し、山間部特有の孤立リスクに備えた防災体制の強化を継続していくことを確認しました。

